

猪名川町 学校施設長寿命化計画



【概要版】

令和3(2021)年 1月

猪名川町教育委員会



1 学校施設の長寿命化計画の背景・目的

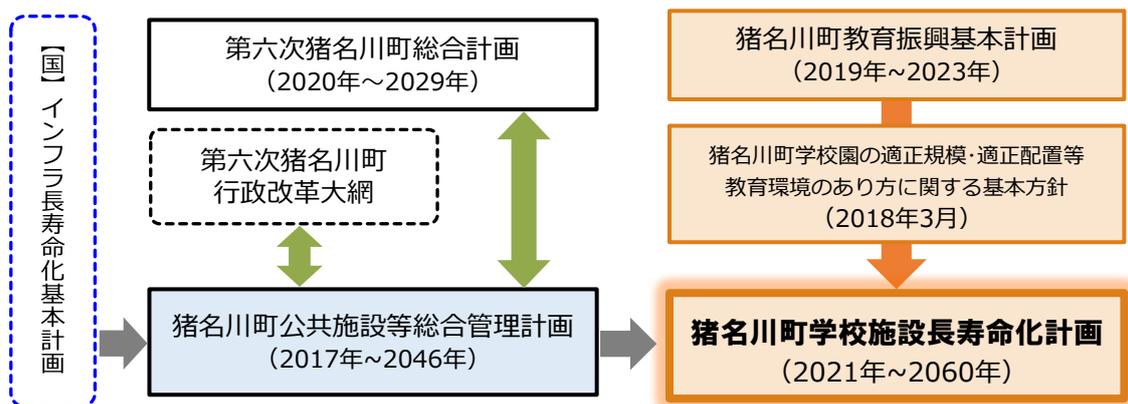
(1) 背景・目的

猪名川町は町域の8割を占める兵庫県立自然公園などを背景に、町南部丘陵地は大規模な住宅地として開発が進み、緑とともに暮らす快適な住宅都市として発展してきました。平成27(2015)年度まで人口の増加は続いていましたが、その年をピークに町の人口は減少に転じており、社会生活全体に少なからぬ影響を与えてきています。

学校施設の良好な環境を提供するためには、適時に改修工事などを行うことが求められ、そのためには相応の経費が必要となります。しかし、今後はさらに人口減少による税収減少が予想されることから、学校教育系施設をはじめとする公共施設の維持管理費の縮減が求められています。

本計画は、それに必要な施設の長寿命化を実現するため、施設の劣化状況や利用状態の変化を把握し、事業量・事業費の縮減及び平準化を図りつつ、改修内容、実施期間等を定め、施設を適切かつ計画的に保全していくことを目的としています。

(2) 計画の位置付けと計画期間



2 学校施設の目指すべき姿

施設の計画的・効率的な整備

- 予防改修工事や長寿命化改修工事の計画的な実施による、ライフサイクルコストの縮減
- 今後の幼児・児童・生徒数の推計等を基にした学校園の適正規模・適正配置の検討

教育環境の整備・充実

- 校内LAN整備や電子黒板の設置整備
- オンライン学習等のためのネットワークや照明のLED化、可動黒板等の整備

子どもの安全・安心の確保

- 衛生面や管理面に配慮したトイレの充実（乾式化、洋式化、多目的トイレ）
- 通用門の施錠の電子化などの防犯対策等による安全確保

3 学校施設の実態

(1) 計画対象施設

本計画の対象とする棟は「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書(平成29年3月 文部科学省)」に準じて、延床面積200㎡以上のものとします。ただし、200㎡未満の棟であっても用途・構造等を考慮し対象とすることもあります。

※ 中谷・六瀬中学校は再編され、令和4(2022)年4月に中谷中学校の施設を活用して清陵中学校が開設されます。また、松尾台幼稚園は六瀬幼稚園に統合され、令和5(2023)年3月に閉園します。そのため、六瀬中学校と松尾台幼稚園は本計画の対象外としています。

施設分類別の施設数・棟数・面積

施設分類	施設数	校舎・園舎		体育館・武道場		給食調理場		計	
		棟数	面積(㎡)	棟数	面積(㎡)	棟数	面積(㎡)	棟数	面積(㎡)
小学校	6	18	28,263	6	5,506	—	—	24	33,769
中学校	2	5	14,285	3	3,353	—	—	8	17,638
幼稚園	2	3	1,330	—	—	—	—	3	1,330
学校給食センター	1	—	—	—	—	1	1,863	1	1,863
合計	11	26	43,878	9	8,859	1	1,863	36	54,600

(2) 学校園等の施設状況・運営状況

施設別の計画対象棟数・面積

施設名	棟数	面積(㎡)
猪名川小学校	4	6,259
楊津小学校	3	3,141
大島小学校	3	3,367
松尾台小学校	5	6,691
白金小学校	4	7,204
つつじが丘小学校	5	7,107
中谷中学校 (清陵中学校)	5	7,137
猪名川中学校	3	10,501
猪名川幼稚園	2	630
六瀬幼稚園	1	700
学校給食センター	1	1,863
合計	36	54,600

築年別の施設保有量

築年数	棟数	面積(㎡)	構成比
築49～40年	12	18,229	33.3%
築39～30年	10	16,149	27.8%
築29～20年	8	13,270	22.2%
築19～10年	5	5,089	13.9%
築10年未満	1	1,863	2.8%
合計	36	54,600	100.0%

過去5年間の施設関連経費(年平均額)

施設整備費	約2.7億円	合計 3.4億円
維持管理費	約0.7億円	

児童生徒数の予測

年度	2020 (現状)	2021 (以降推計)	2022	2023	2024	2025	2020 との比較
児童数	1,736	1,687	1,623	1,498	1,388	1,253	-483
生徒数	1,025	1,045	979	936	909	889	-136
合計	2,761	2,732	2,602	2,434	2,297	2,142	-619

(3) 整備対象学校施設の老朽化状況の実態

○ 構造躯体の健全性の評価

対象施設 36 棟のうち、旧耐震基準で設計された 12 棟については、過去に実施した耐震診断調査時のコンクリート圧縮強度により構造躯体の健全性を評価します。

12 棟すべてが「耐震性あり」または「耐震補強済み」であることから、36 棟すべてを長寿命化計画の対象とします。

< 対象施設 36 棟 >

[新耐震基準]
24棟 (66.7%)

+

[旧耐震基準]
12棟 (33.3%)



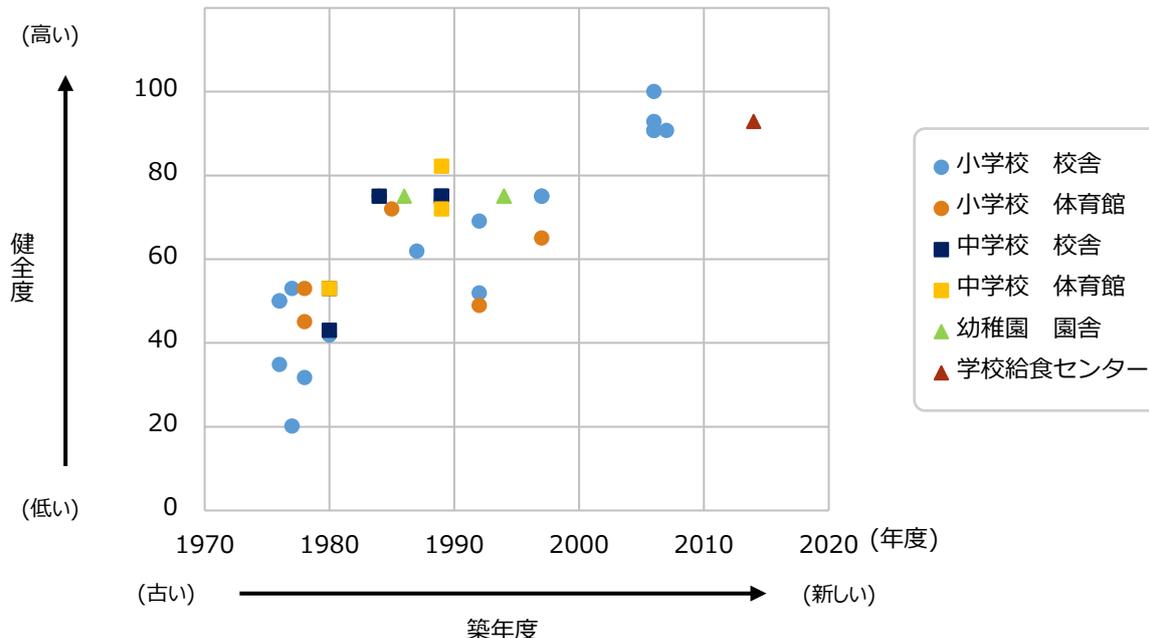
(耐震診断の結果) 耐震性能あり
または 耐震補強済み

○ 構造躯体以外の健全性の評価

健全性	判定	(目視による評価)				(経過年数による評価)					
		屋根・屋上		外壁		内部仕上		電気設備		機械設備	
		棟数	割合	棟数	割合	棟数	割合	棟数	割合	棟数	割合
(良好) 	A	4	11.1%	3	8.3%	7	19.4%	6	16.7%	6	16.7%
	B	25	69.4%	25	69.4%	13	36.1%	18	50.0%	18	50.0%
	C	7	19.4%	7	19.4%	12	33.3%	11	30.6%	12	33.3%
	D	0	0.0%	1	2.8%	4	11.1%	1	2.8%	0	0.0%
(劣化) 	合計	36		36		36		36		36	

○ 建設年度別健全度の評価

(点) ※100点満点



4 学校施設整備の基本的な方針等

(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針

学校園が地域の中心的な施設であることに留意した施設づくりに努め、児童数等の減少が見込まれる地域にあつては、施設の規模や配置等を検討します。

利用しなくなった施設・建物は、地域活性化に向けた新たな施設利用の検討をします。また、余裕教室は、コミュニティスクールの取り組みの中で、地域コミュニティ活性化のベーススペースとして積極的な活用を図ります。

(2) 改修等の基本的な方針

長寿命化の方針

- 施設の劣化・損傷が軽微な段階で、修繕・改修を行い施設の長寿命化を図ります。
- 地域の中心的な施設として多くの住民が利用する施設であることに留意し、安全・安心の確保を最優先とした改修を行います。
- 災害時の避難所に指定されていることから、改修計画にあたってはユニバーサルデザインの視点に立ち、誰もが円滑に利用できる施設づくりを目指します。

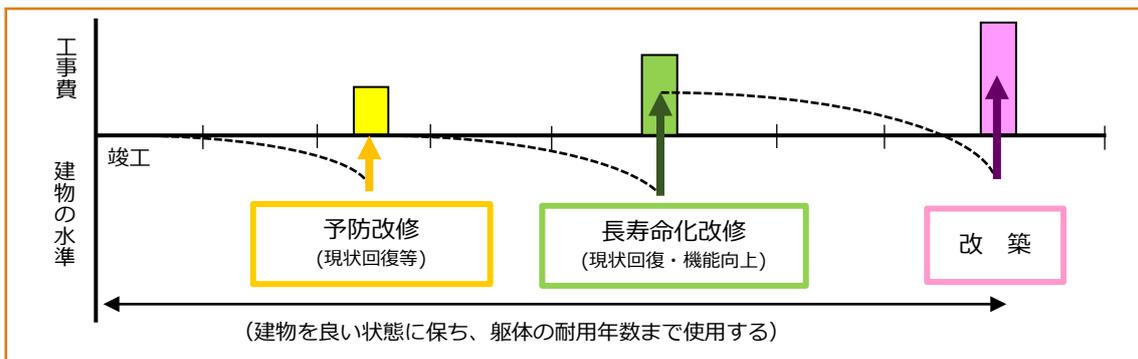
目標使用年数、改修周期の設定

- 築80年以上の建物使用を目指します。

現在、すでに築35年以上が経過し早急に改修が必要な棟や、築25年未満の比較的良好な棟など、さまざまな状況にある棟が混在していることから「グループ1、2、3」の3つに分類し、整理します。

グループ1	築25年(予防改修) - 築50年(長寿命化改修) - 築80年周期(改築)
グループ2	築30年(予防改修) - 築50年(長寿命化改修) - 築80年周期(改築)
グループ3	築40年(予防改修) - 築60年(長寿命化改修) - 築90年周期(改築)

< 改修サイクルイメージ >



5 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準

改修等の実施にあたっては、単に数十年前の建築時の状態に戻すのではなく、構造体の長寿命化やライフラインの更新等により建物の耐久性を高めるとともに、省エネ化や多様な学習形態による活動が可能となる環境の提供など、現代の社会的な要請に応じます。

また、すべての小・中学校、幼稚園が、避難所に指定されていることから、災害時の利用に支障をきたさないように、ユニバーサルデザインや衛生設備等の充実を目指します。

6 長寿命化の実施計画

(1) 各校園の改修方針

学校園名	改修方針
● 猪名川小学校 ● 松尾台小学校	・ 築40年以上経過した建物。 耐震補強済み。 ・ 躯体以外の部位(屋根や外壁・内装など)は経年劣化が生じています。早急に予防改修を実施し、築60年程度で長寿命化改修を行うことで、最終的に築90年程度の施設利用を目指します。
● 楊津小学校 ● 大島小学校	・ 良好な状態を維持しています。 ・ 今後は、築30年程度で予防改修を実施し、築50年程度で長寿命化改修を行うことで、最終的に築80年以上の施設利用を目指します。
● 白金小学校 ● つつじが丘小学校 ● 六瀬幼稚園	・ 良好な状態を維持しています。 ・ 今後は、築25年程度で予防改修を実施し、築50年程度で長寿命化改修を行うことで、最終的に築80年以上の施設利用を目指します。
● 中谷中学校 (清陵中学校)	・ 築40年以上経過した建物。 耐震補強済み。 ・ 屋根や外壁などには経年劣化が見られますが、早急に予防改修を実施し、築60年程度で長寿命化改修を行うことで、最終的に築90年程度の施設利用を目指します。
● 猪名川中学校	・ 2013・14年度に大規模な内外装改修を実施。良好な状態を維持しています。 ・ 今後は、築25年程度で予防改修を実施し、築50年程度で長寿命化改修を行うことで、最終的に築80年以上の施設利用を目指します。
● 猪名川幼稚園	・ 良好な状態を維持しています。 ・ 早急に予防改修を実施し、築50年程度で長寿命化改修を行うことで、最終的に築80年程度の施設利用を目指します。

※ 予 防 改 修：長寿命化を図ることを前提として実施する建物等の劣化を予防するために行う改修で、新築時から長寿命化改修時までの間、または長寿命化改修時から改築時までの間に実施します。 改修内容は以下のような項目です。

- 屋上防水や屋根の全面改修
- 外壁の仕上げ材(タイルや塗装等)の更新
- 躯体のひび割れの全面的な補修 等

※長寿命化改修：建物の長寿命化を図るための改修ですが、老朽化した施設の不具合を直すだけではなく、時代のニーズに合った機能・性能の引き上げも行います。 改修内容は以下のような項目です。

- 建物の耐久性を高める改修
(構造体の性能回復、耐久性に優れた材料の使用、維持管理などの容易さの向上、ライフラインの更新など)
- 社会ニーズに応じる改修
(多様な学習環境の提供、断熱等の省エネ対策など)

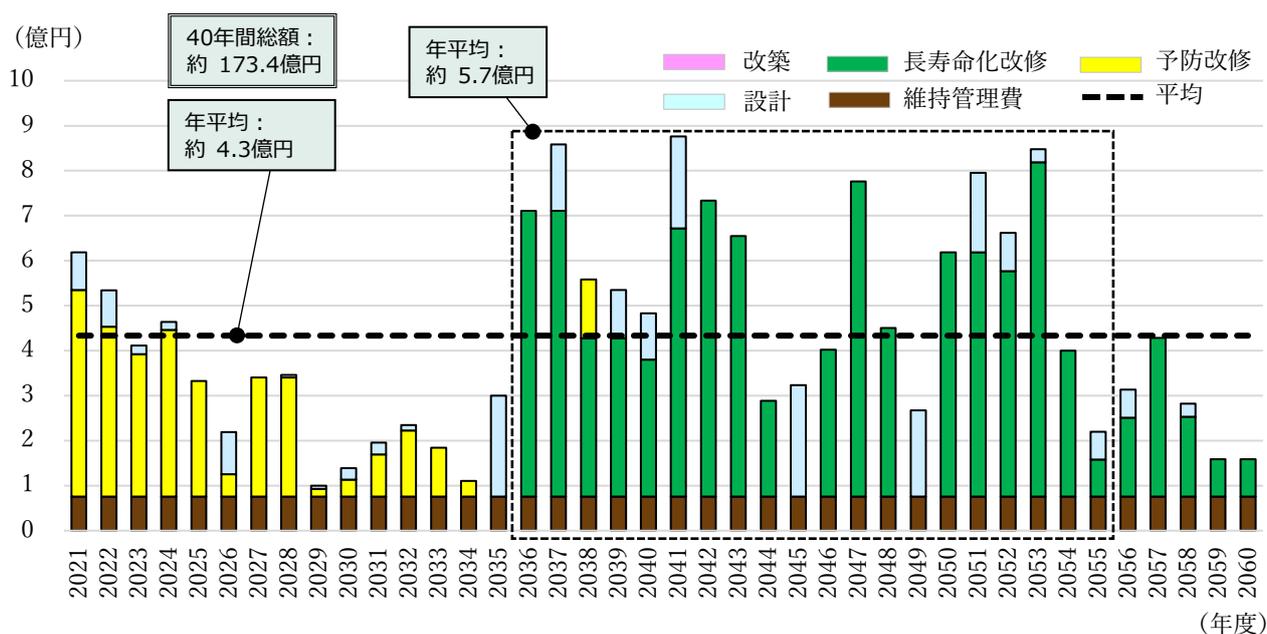
(2) 今後5年間の実施計画

施設名	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
猪名川小学校	設計	予防改修			
楊津小学校				設計	予防改修
大島小学校			設計	予防改修	
松尾台小学校		設計	予防改修		
白金小学校	予防改修				
つつじが丘小学校	今後5年間、改修予定なし				
中谷中学校 (清陵中学校)	予防改修			設計	予防改修
猪名川中学校	今後5年間、改修予定なし				
猪名川幼稚園	予防改修				
六瀬幼稚園			設計	予防改修	
学校給食センター	今後5年間、改修予定なし				

(3) 長寿命化のコストの見通し

本計画の方針に基づき、学校施設における今後40年間(2021~2060年)の施設整備コストを試算したところ、その総額は「約173.4億円」で、年平均額は「約4.3億円」となります。なお、令和18(2036)年から令和37(2055)年までの20年間においては、多くの施設が長寿命化改修時期となり、年平均「約5.7億円」もの費用が必要となってきます。

今後の人口減少や少子高齢化による税収の減少、多様な社会ニーズの高まり等を勘案すると、学校施設の配置や規模だけでなく、町の公共施設全体のあり方について検討していく必要があります。



7 長寿命化計画の継続的運用方針

(1) 情報基盤の一元化と活用

学校施設を適切に管理していくため、過去の改修・修繕履歴や各施設の状態などを情報として蓄積し、適宜更新をします。また、予防保全型コスト算定や継続的な施設管理に活用できるよう、最新情報の一元管理を行います。

(2) 推進体制等の整備

学校施設の長寿命化計画を継続的に運営していくために、町教育委員会が中心となり施設管理者や関係部局と連携・協力し、全庁的な体制で取り組みます。

また、この取り組みの基本となる学校施設の維持管理については、日常点検や保守点検業務委託による各種点検報告書を活用して、施設の維持保全に努めます。

(3) フォローアップ

本計画で対象とする学校施設は、施設の長寿命化を基本としていますが、将来の学校教育等を取り巻く環境の変化や児童数等の変動、本町の財政状況等によって随時対応する必要があります。上位計画である総合管理計画との整合を図りつつ、学校施設整備を進めていくためには、

計画(Plan) → 実施(Do) → 評価(Check) → 改善(Action)

の「PDCA サイクル」を確立し、適切な進行管理を行います。

計画（P）：施設の現状を踏まえた実施計画の策定
実施（D）：点検・診断の実施、改修等の実施、施設情報データの蓄積
評価（C）：児童数等の推移、修繕改修状況、施設評価
改善（A）：修繕改修・機能集約・再編等の検討



猪名川町教育委員会
〒666-0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑 11-1
TEL：(072) 766-6000 FAX：(072) 766-8904